



家庭学習は 音読から

先生・保護者の皆様へ

小樽市教育委員会では、今年度も「音読カード」を作成しました。音読によって、国語力や創造力にかかわる脳の場所が特に活性化するという脳科学者の見解もあります。

音読は、だれでも、簡単にできる最も効果の上がる勉強の仕方の一つです。教科書の作品を、正確にすらすらと読むことができるようになるまで、音読カードを活用して、毎日、音読に取り組ませましょう。

漢字を正確に読んだり、書いたりすることができるようになる！

相手に伝わるように話したり、書いたりする力が高まる！

毎日続けると...

多くの言葉を覚え、文章の内容を確実に理解することができるようになる！

言葉の意味や役割、表現の意図、登場人物の気持ちを理解することができるようになる！

中学生にとっては、読書と組み合わせることによって速く正確に読む力が身につき、学力向上にもつながる！

などの効果が期待できます

音読の鉄則～保護者の皆様へ～

- ①音読を毎日の日課にさせましょう！
- ②カードを点検してあげてください！
- ③「頑張ったね」「上手になったね」の一言を！

小学生には・・・

①音読をしたら、その日の日付を記入させる。

②いちどもつかえずに最後まで読めたら印をつけさせる。

ページ	作品名	音読をした日数					音読の達人	自家の人から	先生から
		おんどくがわつたら、○の中に日付けを書きましょう。 (れい) 5/20 5/21 5/22 5/23					いちどもつかえずに、さいごまでよめたよ	すこがんぼつたね ◎ がんぼつたね ○ まだできるよ △	
1 (上)0～1	はる	5/20	○	○	○	○	○	😊	印

先生へのお願い

- 毎日提出させる場合は、子どもがつけた日付の上に印を押してあげてください。
- 単元ごとに提出させる場合は、「先生から」の欄に印を押してあげてください。

- ③お子さんの音読を聞いて、頑張りを認め、励ましてあげてください。やる気と自信につながります。
- ④全部終わったら、印などをつけてあげてください。

中学生には・・・

- ①初めは、言葉や文の最後まで丁寧に発声させます。
- ②スラスラ読めるようになったら、速く読む練習（速読）をさせ、さらなる意欲をもたせます。長い文章問題なども速く読み取る力がつきます。

ページ	教材名	音読をした日数					音読の達人	自己評価	先生から 保護者から
		音読が終わったら、○の中に日付けを書いて記録しましょう。 (例) 5/20 5/21 5/22 5/23					一度もつかえず最後までスラスラ読めた。	休まずがんぼつた ◎ がんぼつた ○ もつとがんぼつた △	
1 16～19	野原はうたう・声を届ける	5/20	○	○	○	○	○	😊	印

先生・保護者へのお願い

- 教材の学習が終わったら、自己評価をさせ、チェックしてあげてください。
- 中学校1年生の1学期が重要です。読めない漢字をそのままにして、音読をすることはできません。辞典を引いて調べるといった主体的な学びにつなげてください。

さらに 読書活動につなげましょう

	本の名前	作者名	先生から 保護者から
1			印
2			印
3			印

- 本を読み終えた生徒にはチェック（押印）をしてください。
- 年間30冊以上を目標に励ましてあげてください。

小樽市教育委員会